



JA広島総合病院
ホームページ

発行所/JA広島総合病院
〒738-8503 広島県廿日市市地御前1-3-3
Tel.0829-36-3111(代) Fax.0829-36-5573
2024年(令和6年)1月19日(金)発行

パソコン www.hirobyo.jp

変革の年 《新年のご挨拶》



JA広島総合病院
病院長
石田 和史
ISHIDA Kazufumi

年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

2020年に始まった新型コロナウイルスのパンデミックは完全終息とは言えないものの、ウイルス変異による弱毒化により社会や医療従事者への負荷は明らかに軽減し、失われていた人々の営みも復活してきました。一方、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化に加え、中東でのイスラエルとハマスの衝突で世界情勢が混沌とした状況になったことは、世界の人々にとって新型コロナウイルス以上の脅威となるかもしれません。

政治の世界では暗い話題が多かった昨年でしたが、スポーツ界では待ジャパンが野球発祥国であるアメリカに勝利して世界一となり、日本国民に元気を与えてくれました。プロ野球でも、広島東洋カープが新井貴浩新監督の素晴らしいリーダーシップの元で一時は首位に立

つなど、低かった下馬評を覆す大健闘を見せてくれました。今年は西川選手のFA移籍や外国人選手の入替えもあり不安な部分もある反面、新たな若手選手の台頭が見られる楽しみの多い年になる予感がします。一方サッカー界でも、他の都市に例を見ない広島市の真ん中に新スタジアムが完成し、サンフレッチェ広島に対する応援もカープに負けないくらいの熱気を帯びることでしょう。

今年2024年は、十二支でいうと「辰(たつ)」年、十干では「甲(きのえ)」の年となり、干支は「甲辰(きのえ・たつ)」となるそうです。甲辰は「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」といった縁起のよさを表しており、変革にふさわしい1年になりそうです。

変革と言えば、広島総合病院にとって今年も新たなステージを迎えます。念願だったヘリポートのある新棟(今後は南棟と呼びます)が今年3月末に完成し、5月から病棟・手術室・外来部門の運用が順次始まります。手術室にはダビンチと呼ばれる最新鋭の医療機器が入り、当院でも最先端のロボット手術を受けることが可能となります。新病棟

は個室の割合を既存棟より増やしており、今まで以上にプライバシーが確保された空間ができます。また4月からは「医師の働き方改革」が本格化し、病院職員の労働環境に関しても変革の年となりますが、新たな環境の下で広島県西部の要の病院として、さらに質の高い安全な医療をご提供する所存ですので、引き続き皆様方のご指導・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

末筆ではございますが、本年が皆様にとって幸多き1年になりますことを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

迎春



第14回ふれあいポスター展

2023年11月6日（月）から2023年12月22日（金）まで、1階ロビーにて第14回ふれあいポスター展を開催しました。この企画は、患者さんや地域の方に当院がどのような医療を行っているか、分かりやすく理解していただくことを目的としております。各部門より趣向を凝らした作品が多く出展され、華やかな展示となりました。

今年度は、4年ぶりの開催となったオープンホスピタルに来場いただけた方々に良いと思うポスターに投票していただきました。

住民投票並びに委員会委員による採点の結果、以下の作品が最優秀賞、優秀賞を受賞しました。

作成したポスターは、院内各部署に掲示されておりますので、是非ご覧ください。

◆ 最優秀賞

部 署	作 品 名
外来化学療法室	秋の味覚改善祭り ～味覚の改善にレッツトライ!!～

★展示総数：47 作品

医局部門 14 作品

看護部門 20 作品

コメディカル部門 9 作品

チーム活動他部門 4 作品

★展示期間：11月6日（月）～12月22日（金）

★住民投票：11月23日（木・祝）

オープンホスピタル来場者 202 名
(598 票)

◆ 優秀賞

部 門	部 署	作 品 名
医 局	外 科	胃 GIST の外科治療
看 護	人 工 透析室	腎臓の機能が悪くなったら ～あなたらしく生活するために～
	東 7 階 病棟	腎生検ってなにをするの？
コメディカル	栄養科	カン タン パクっと！ ～手軽にとろう たんぱく質～
チーム活動他	認知症 ケアチーム	食べないのは認知機能低下の影響かも 自宅でもできる！食べ方の工夫
住民投票	臨床研究 検査科	ようこそ検査ワールドへ Part13 身近に潜む食中毒～その鶏肉大丈夫ですか？～



（最優秀賞） 外来化学療法室



（優秀賞・看護部門） 東7階病棟



（優秀賞・看護部門） 人工透析室



（優秀賞・医局部門） 外科



（優秀賞・住民投票部門） 臨床研究検査科



（優秀賞・チーム活動他部門） 認知症ケアチーム



（優秀賞・コメディカル部門） 栄養科

第11回オープンホスピタルを開催しました



▲開会セレモニー

令和5年11月23日(木・祝日)、秋晴れの下、4年ぶりとなる第11回オープンホスピタルを開催しました。オープンホスピタルとは、地域の方々を対象に病院を身近に感じていただけるようなイベントです。具体的な内容としては、院内各部署それぞれの取り組みや医療情報などをまとめた力作ぞろいのポスター展、ロボット手術をテーマにした公開講座、そのほか、医療相談、プチ健康診断、骨密度測定コーナー、心臓リハビリ体験コーナー、DMAT 災害コーナー、おもちゃすくいコーナー、JA 共済ふれあい広場などがあり、さらにはアンパンマンにも登場していただきました。

この度は、JA ひろしま佐伯中央地域本部と相談し、隣接する JA 産直ふれあい市場「よりん菜」でも同日に農協感謝祭を開催していただき、共同イベントが実現しました。

コロナ禍を経て、病院内での初の大規模なイベントだったため、実際にご来場いただけるのかどうか不安はありましたが、当日は多くの方にお越しいただきました。

開会にあたり石田病院長より来年春の新棟オープンやそれに伴うドクターヘリの受け入れ、ロボット手術の導入など今後の展望について説明がありました。この度のイベントを一つの契機とし、職員一丸でより一層地域に貢献できるように邁進いたします。



▲TRUEBAND によるロビーコンサート



▲泌尿器科 加藤昌生主任部長による公開講座
「わくわくするロボット手術」



第20回市民公開講座 開催しました！

日時

令和5年12月3日(日)

参加者：339名

場所

はつかいち文化ホール

ウッドワンさくらびあ 大ホール

テーマ はじめませんか 人生会議

人生会議とは、あなたが望む医療やケアについて前もって考えることです。

今回の市民公開講座では、人生会議とはどんなものなのか、元気な時からどのように家族や主治医と話をしておけばよいのかなどについて、医師や看護師の立場から講演を行いました。

参加された方々より、「いろいろ考える良いきっかけになった。」「人生会議をしてみたい。」「家族としっかり話し合いたいと思う。」などのご意見を頂きました。

頂いた感想やアンケート結果を参考にし、今後も幅広い世代の方に来ていただけるよう検討していきたいと考えております。

次回も多くの方々のご参加をお待ちしております。



市民公開講座の様子



広報誌せとバックナンバー

<https://hirobyo.jp/>

